

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1475500813
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム宮前
訪問調査日	平成21年7月21日
評価確定日	平成21年8月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年8月25日

【評価実施概要】

事業所番号	1475500813
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム宮前
所在地	216-0002 川崎市宮前区東有馬3-8-7 (電話)044-871-5516

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成21年7月21日	評価確定日	平成21年8月25日

【情報提供票より】(平成21年 7月 15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・ 平 17年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 7 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	13.7 人

(2)建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	35,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(7月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	7 名		
要介護5	3 名	要支援2	名		
年齢	平均 85.2 歳	最低	66 歳	最高	94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	山本記念病院、やまびこクリニック、有馬病院、有馬歯科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの経営は憐愛誠会である。愛誠グループは全国に薬局を展開して来たが、近年アイセイ薬局と並列企業の憐愛誠会では埼玉のデイサービス(3カ所)、神奈川、静岡、千葉(5ヶ所)を展開している。また同じく並列企業の社会福祉法人では身体障害者施設、福祉作業所を展開しており医療・福祉に強みを持っている。もと同系列から独立した憐REPRANAのマッサージや、山本記念病院系列のやまびこクリニックからの往診医が訪問し利用出来るようになってきている。医療連携加算は設定当初から認定を受け、ターミナルケアに関してはご家族に説明し、希望される方からは同意書を頂いて対応を実施している。食事は独自メニューで、近所のスーパーへ買出しをして実施し、好みのものを食べて頂いている。居室担当を決め、その職員が中心となって入居者の状況を確認している。カンパレンスはカンパレンスノートを作り、司会、書記を決めて実施し、アセスメントの原票とし介護計画に反映している。介護計画は細分化し、介護項目に#NOを付け、進捗を確認し、次の介護計画に反映している。会社及びホームの理念として安心して暮らせる環境作りを目指している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>施設長の交代に伴い、ケアの中を広げる意味も含めてボランティアの活用に取り組みは始めている。利用者をより行事に参加出来るようにするためには現有の職員体制では限界があるため、お散歩やレクリエーションにボランティアの活用を検討している。ボランティアの募集については福祉系学科のある大学・短大(利用経験あり)へアプローチすると共にボランティア保険等も検討している。募集に於いてはボランティア募集の内容も明示することとしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回、自己評価作成については、管理者が7月1日付けで交代・赴任したばかりであり、前任が前年度データベースに今年の状況を加えて準備してくれたものをベースに、フロアリーダーにまともをお願いし、この自己評価を作成した。評価が確定し次第、それを職員に周知・徹底する予定である。外部評価のプロセスに於ける気付きや指摘事項については改善計画を立てて改善に取り組みすることとしている。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議については、管理者の交代が一昨年、昨年、今年と3回連続の交代があり、残念ながら根回しが中断したまま経緯している。自治会との連携は難しい面もあるため、先ずご家族を中心にスタートを考えたい。そのアプローチの中で地域としては大家さん、これに民生委員の方にお声をかけ、オブザーバーとしての市町村としては地域包括支援センターに加わってもらいたいと考えている。9月実施の方向で検討を進めて行く。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族は比較的良く訪問してくれている。家庭菜園をやっているご家族からは野菜の差し入れもある。また、入居者の娘さんのピアノ、手芸の出来るご家族が手芸のボランティアに来てくれている。別の娘さんは昼食介助に来てくれたり、外食・外泊の協力を頂いている。イベントのうちクリスマスの時だけはお招きして一緒に楽しんでもらっている。その暮らしぶり、健康状態の報告、ケア対応状況報告等については来訪時やお電話、毎月のお手紙等でお知らせしている。奢侈を中心としたお便りも復活したい。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、案内を頂いてイベントに参加している。盆踊りなどでは椅子を用意して待っていてくれている。ボランティアの関係では定期的にはファゴット演奏の方が毎月1回来て頂いている。不定期にはご家族が趣味の琴を奏の会の方数人と一緒に来て演奏してくれる他、カッポレ、三味線と和太鼓、スチールギターの方が来てくれている。川崎北高校、幼稚園などとの関係が出来つつあり交流を検討中である。同系列のグループホーム(有馬)で開催の夏祭りは合同で実施する予定である。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	企業としての熱い理念に基づいた施設独自の理念を念頭におき、カンファレンスを行い、個々に合ったケアプラン作成のもと支援に努めている。更に個々の得意な分野を見出し生きがいをもった生活を送れるよう取り組みに努めて行く。	○	個々の得意な分野を見出し生きがいをもった生活を送れるよう取り組みに努めて行く。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に職員が理念を念頭においてケアに取り組むように努めている		今後も継続して実施して行く。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の行事夏祭りにホーム全体で参加し、地域の人々との交流に努めている。川崎北高校、幼稚園などとの関係が出来つつあり交流を検討中である。同系列のグループホーム(有馬)で開催の夏祭りは合同で実施する予定である。ボランティアを導入し行事に参加する機会を増やしていきたいと考えている。	○	ボランティアを導入を検討して行く。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を実施する意義を理解している。また、評価を活かし具体的な改善への取り組みに努めている。	○	より実現可能な改善から取組ようにしている。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、管理者の交代が一昨年、昨年、今年と3回連続の交代があり、残念ながら根回しが中断したまま経緯している。自治会との連携は難しい面もあるため、先ずご家族を中心にスタートを考え、地域としては大家さん、これに民生委員の方にお声をかけ、オブザーバーとしての市町村としては地域包括支援センターに加わってもらい、9月実施の方向で検討を進めて行く。	○	しばらく行なってこなかったため、今回の管理者交代にあわせて、運営推進会議を行って行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する会議、研修には積極的に参加するように取り組んでいる。		今後も継続して実施して行く。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者様の暮らしぶり、健康状態の報告、職員のケア対応状況報告し、安心の確保、また協力を得られるような関わりに努めている。家庭菜園をやっているご家族からは野菜の差し入れもある。また、入居者の娘さんのピアノ、手芸の出来るご家族が手芸のボランティアに来てくれている。別の娘さんは昼食介助に来てくれたり、外食・外泊の協力を頂いている。		今後も継続して実施して行く。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の知らない利用者様の状態の報告により、家族の喜び、要望、願いを表してもらえよう関わりが出来るよう努めている。それにより、事業所の信頼を得て運営に反映するよう努めている。意見箱を設置し、直接意見の言えないような場合も意志表示ができるような機会を設けるようにしている。	○	意志表示ができるような機会を設けるようにして行く。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職を必要最小限に抑える努力に努めている。チームケアに徹し、離職の場合も引継ぎの期間を設け、速やかに業務に入れるように考慮している。		今後も継続して実施して行く。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のキャリアアップ、スキルアップの希望などの聞き取りを行い、それに合わせて研修等を受けてもらうように進めている。		今後も継続して実施して行く。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある姉妹施設との交流を通して、できるだけ様々な要介護者のケースに触れる事で介護スキルのアップを図り、サービスの質の向上に努める。		今後も継続して実施して行く。近所にグループホームは姉妹施設しか無いため、施設系とも交流を心がけて行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族等と相談し利用者様が安心出来る環境を作り、納得した上でサービスの開始に努めている。2泊3日の体験入居を経た後に入居するシステムをとっている。		今後も継続して実施して行く。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経験のある利用者からの学びを大切にし日々の関わりに努めている。更に互いが気に掛け合いながら生活をともにしていけるよう努めている。		今後も継続して実施して行く。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者個々の思い、希望の把握が困難な場合は、本人の行動・生活歴・ご家族からの情報をもとに、職員全員が検討、把握している。		今後も継続して実施して行く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者全員はもとより、担当利用者とは更に密に寄り添い、ケアのあり方、課題を挙げ、話し合いケアマネジャー監督の下、介護計画作成にて取り組んでいる。	○	ケアのあり方について、本人・ご家族を含めての話し合いが少ないため、積極的に取り入れるよう努めて行く。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の定期見直しの実施、見直し以前に大幅な変化が生じた場合は、すぐに話し合いの場を設け、その状況に即した介護計画を作成し対応している。	○	見直し以前に大幅な変化が生じた場合、ケアのあり方について、本人・ご家族を含めての話し合いが少ないため、積極的に取り入れるよう努めて行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人・ご家族の要望、希望に応じ、外出・外泊・個別支援等、柔軟な対応に努めている		今後も継続して実施して行く。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携のとれている病院、訪問医療での関係を築いているが、馴染みであるかかりつけ医での治療があれば、希望に添えるように対応している。		今後も継続して実施して行く。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方について、早い段階での話し合いの場を医師、家族と設け、どのように連携を取るか、どのように対応するか話し合い、全職員が理解しあえるよう努めている。	○	入居者全員から急変時の対応に関する説明と同意書に対して署名をもらっている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いの徹底、本人様の気持ち・誇りを損ねないような言葉かけ、対応に努めている。		今後も継続して実施して行く。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人を優先し、無理に物事をすすめないような対応に努めている。		今後も継続して実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々が食べやすい食事量、食事形態にし気持ちよく食事が出来るよう支援に努めている。また可能な限り、利用者と職員と一緒に食事準備・片付けを行っている。		今後も継続して実施して行く。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間は大まかに決定している部分はあるが、その日の利用者様の身体・心理状態に寄り添い、入浴が気持ちよく楽しめるような支援に努めている。		今後も継続して実施して行く。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の生活歴・趣味・特技を活かしケアプラン作成のもと、気晴らし・張り合いある一日を過ごしていただけるよう努めている。		今後も継続して実施して行く。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	午前中の時間が多いが天気の良い日は散歩・買い物等、戸外に出かける支援に努めている。職員の体制を十分にし、時間に決まりなく、利用者の希望に添い外出支援が出来るように工夫をして行く。	○	利用者の希望に添い外出支援が出来るような体制の工夫。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、外へ行きたい希望、要望に寄り添い対応し鍵をかけないケアを出来るだけ心がけている。	○	職員体制が完全ではなく鍵を使用する日、時間帯がある。鍵をかけないケアが完全となるよう努めて行く。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応、避難経路の把握、理解に努めている。災害時の対応、避難方法を行動で理解し、緊急時にはすぐに対応出来るように訓練等を実施していく。また地域の人々の協力を得られるよう、働きかけて行く。消防法の改正に対応し防火管理者等の設置を行なった。またスプリンクラー設置についても進めている。	○	訓練等を実施、地域の人々の協力を得られるような働きかけを進める。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々に合わせた食事形態にて対応し栄養バランスの保持に努め、水分においても飲水量が少ない場合にはゼリーなどでの補給をし一日を通しそれぞれが確保出来るように支援している。		今後も継続して実施して行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音、光がないよう配慮し外出にて摘んできた花等を飾り季節感を感じあいながら居心地の良い空間作りに努めている。		今後も継続して実施して行く。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族の理解、協力を得て使い慣れた馴染みあるものを揃え、居心地良い空間作りに努めている。また、活動、移動しやすい配慮にも心掛けている。		今後も継続して実施して行く。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	はなまるホーム宮前
(ユニット名)	1F
所在地 (県・市町村名)	川崎市宮前区東有馬3-8-7
記入者名 (管理者)	稲村 健一
記入日	平成 21 年 7 月 14 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設理念を念頭におき、カンファレンスを行い、個々に合ったケアプラン作成のもと支援に努めている	○	更に個々の得意な分野を見出し生きがいをもった生活を送れるよう取り組みに努めていく
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に職員が理念を念頭においてケアに取り組むように努めている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関の見やすいところに掲示し、理解してもらうように努めている。	○	地域の方にも機会があるたびにまたは機会を作り、理念について説明するように努める。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日は散歩、買い物に出かけ地域お店の方々と顔なじみになり、気軽に挨拶が出来るような付き合いに努めている	○	更に交流を深め近所付き合いが当たり前となり、いざという時、助け合えるような関係を築けるような関わりに取り組んでいく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の行事夏祭りにホーム全体で参加し、地域の人々との交流に努めている	○	ボランティアを導入し行事に参加する機会を増やしていきたいと考えている。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方々と交えた行事を主催する		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を実施する意義を理解している。また、評価を活かし具体的な改善への取り組みに努めている	○	より実現可能な改善から取組ようになっている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、評価の取り組みを事業所内で活動し、サービス向上に活かしているが、運営推進会議との取り組みへの活動は出来ていない	○	しばらく行なってこなかったため、今回の管理者交代にあわせて、運営推進会議を行なう。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する会議、研修には積極的に参加するように取り組んでいる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の財産管理サービスを利用されてる方がおり、今後後見制度の利用を視野に入れて情報提供を行なっていく。	○	後見制度についての研修等に参加するように努める。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待、拘束について資料にもとづき職員内で理解しあい、土せつな愛で見過ごされることがないように注意し、利用者様個々を尊重した関わりに努めている	○	虐待、拘束について再度学ぶ機会を設け言葉遣い、関わり方等も見直し、職員内での再確認に努めていく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を家族の前で読み、その都度ある疑問、不安事に十分な説明を行い、必ず理解、納得していただけるように努めている	○	退去していただくこととなる医療行為についての説明に際しては、より具体的な例を挙げて説明し納得していただくようにする。退去後の生活についても相談に乗ることをお話し不安を解消するように努める。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常サービス等に対する意見・不満・苦情を職員にあらわしていただけるよう、また、職員側が気付いていけるような対応に努め、この事実を管理者へ報告し運営の反映が出来るよう努めている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の暮らしぶり、健康状態の報告、職員のケア対応状況報告し、安心の確保、また協力を得られるような関わりに努めている。職員の異動等については、報告していない。金銭出納については、月初にご家族に送らせて頂いている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の知らない利用者様の状態の報告により、家族の喜び、要望、願いを表してもらえよう関わりが出来るよう努めている。それにより、事業所の信頼を得て運営に反映するよう努めている	○	意見箱を設置し、直接意見の言えないような場合も意志表示ができるような機会を設けるようにする。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所職員の話し合い内容をまとめ管理者は本社会議にて運営者へ提示している	○	本社会議内容を管理者は職員内に提示し互いに意見交換をしていけるように努める
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様・ご家族の状況の変化に対応できるよう、職員確保のための連携の取り組みを行っており、また要望には対応できるような勤務調整の話し合いに努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職を必要最小限に抑える努力に努めている。離職の場合も引継ぎの期間を設け、速やかに業務に入れるように考慮している。		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のキャリアアップ、スキルアップの希望などの聞き取りを行い、それに合わせて研修等を受けてもらうように進めている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある姉妹施設との交流を通して、できるだけ様々な要介護者のケースに触れる事で介護スキルのアップを図り、サービスの質の向上に努める。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者が職員の表情、行動を意識し、意見、要望を表せるような関わりに努め、本社会議にて運営者へ報告、提示している	○	本社会議での運営者の対応を職員へ提示し、要望にできるだけ応え、心身ともに休める環境作りに取り組んでいけるように努める
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている	管理者が職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう関わりに努め、運営者へ報告、提示している	○	運営者の対応を職員に提示し、向上心を持って働けるよう関わりに努めていく

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	職員との連携を取り合い、利用者様の不安、要望などの意見に寄り添える機会を十分に設けていけるよう努めている。生活暦等の中から話題を見つけ会話を多く交わすように努めている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族面会時には、利用者様の状況を報告し、短時間ではあるが、ご家族の思いを聴き、受け止めるよう努めている	○	ご家族の思い、意見を十分に聴く機会を設けていけるよう努める
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援、今後必要とされるであろう支援を見極め、早めに相談を受ける前でも支援を行なうようにしている。		

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族等と相談し利用者様が安心出来る環境を作り、納得した上でのサービス開始に努めている。2泊3日の体験入居を経た後に入居するシステムをとっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経験のある利用者様からの学びを大切にし日々の関わりに努めている。更に互いが気に掛け合いながら生活をともにしていけるよう努めている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員・ご家族共に、悩み・不安を話し合いご家族の協力も得ながら一緒に支え合えるような関わり作りに努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでのご本人、ご家族との関係、今のご本人の思い、ご家族の思いをそれぞれに受け止め理解しより良い関係を築けるよう努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、ご家族などの協力を得ながら、支援に努めている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様個々の性格、関係を把握し、利用者様全員が萎縮して生活することのないような環境、関係作りに勤めている。利用者同士の人間関係構築の為、共通の話題を投げかけてみるなど、スタッフが積極的に関係づくりに関わっている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	イベント等のお知らせや、他新しいお知らせがあれば郵送にてお知らせし、参加していただけるように努めている		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様個々の思い、希望の把握が困難な場合は、本人の行動・生活歴・ご家族からの情報をもとに、職員全員が検討、把握している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様本人やご家族から伺った個々の生活歴・好みを職員間で把握し、それをもとに、更に過ごしやすい生活が送れるように努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様個々の過ごし方、心身状態、有する力、の現状の把握に努め、日々、変化を見極め、情報の共有をし、関わりに努めている		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様全員はもとより、担当利用者様は更に密に寄り添い、ケアのあり方、課題を挙げ、話し合いケアマネージャー監督の下、介護計画作成にて取り組んでいる	○	ケアのあり方について、ご本人・ご家族を含めての話し合いが少ないため、積極的に取り入れるよう努める
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しの実施、また、見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合は、すぐに話し合いの場を設けその状況に即した介護計画作成に対応している	○	見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合、ご家族・必要な関係者と電話による話が多いため、一同による話し合いの場を早期に設ける事が出来るよう努める

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、課題について、実践・経過・結果を記入し、新たな気づき、課題の情報共有を行い、ケアプラン見直しに活かすよう努めている		

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人・ご家族の要望、希望に応じ、外出・外泊・個別支援等、柔軟な対応に努めている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	イベントやレクリエーションにはボランティアに協力していただき支援に努めている	○	ご本人の意向や必要性に応じて地域資源との協働に努めていく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネジャーとは、新規入居の紹介・受け入れ時の関係が主である。必要時には、それらの関係を頼りに他のサービス利用の支援を行なって行きたいと考えている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまでは、地域包括支援センターとの関係は、新規入居者の依頼・紹介が主で、協働することはほとんどなかった。	○	今後は、家族のいない独居の方の権利擁護の問題も発生すると考えられるため、協働する機会が増えると思う。連絡を密にして対応していきたいと思う。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携のとれている病院、訪問医療での関係を築いているが、馴染みであるかかりつけ医での治療があれば、希望に添えるように対応している		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者様が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援に努めている	○	認知症専門医の受診が必要とのかかりつけ医の意見があれば、速やかに専門医の受診につなげる体制をとっている。
	○看護職との協働			

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問医師、看護師との連携を密にし、日常の利用者様の状態報告し医療面の情報提供に添い支援している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	訪問医師、連携ある病院との相談を密にし、事務所ですべき事などの指示を仰ぎ、退院期間が短期で行えるように努めている	○	提携病院と施設の間で入院後のADL低下予防のために、入院前の生活状況を報告する用紙が作成された。退院後も入院前の生活状況を維持できるように、報告に基づいて「リハビリ」訓練を行なってくれるようになった。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方について、早い段階での話し合いの場を医師、家族と設け、どのように連絡を取るか、どのように対応するか話し合い、全職員が理解しあえるよう努めている	○	入居者全員から急変時の対応に関する説明と同意書に対して署名をもらった。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所の「出来ること・出来ないこと」、またご本人の「やりたいこと・やりたくないこと」の要望、願いの受け入れを大切に医師、職員で支援に取り組んでいる また今後の変化に備え、ご家族・医師を交えた話し合いの場を設けている	○	急変時の対応に関する同意書を入居者様全員から頂いた。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者様、ご家族の希望、要望に添い十分な話し合いの場を持ち、理解、納得を得て住み替えのダメージを防ぐように努めている	○	
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いの徹底、本人様の気持ち・誇りを損ねないような言葉かけ、対応に努めている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様個々のわかる力、反応にあった声掛け、関わりを職員で理解し、ご本人の要望や決定を引き出せるような支援に努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人を優先し、無理に物事をすすめないような対応に努めている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみにおいてはご本人の残存機能を活かし支援に努めているが、理美容に迫っては個々に望む店へ行けるような支援が出来ていない	○	理美容において利用者様個々に望む店、望む事を引き出し個々に添った支援に努めていく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様個々が食べやすい食事量、食事形態にし気持ちよく食事が出来るよう支援に努めているまた可能な限り、利用者様と職員がい一緒に食事準備・片付けを行っている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ、飲み物等、個々の好みのものを、一人ひとりの状況に合わせて、望む時に提供するよう努めている	○	医師、看護師との相談の場を設け、お酒・たばこ等の望む楽しみを提供できるように努めていく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの観察からオムツ、リハビリパンツの使用を減少し、気持ちよくトイレでの排泄を。また、自信回復、ADL機能向上につながる支援に努めている		
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間は大まかに決定している部分はあるが、その日の利用者様の身体・心理状態に寄り添い、入浴が気持ちよく楽しめるような支援に努めている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の状態・希望・習慣に添って、休息・安眠を促す支援に努めている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様個々の生活歴・趣味・特技を活かしケアプラン作成のもと、気晴らし・張り合いある一日を過ごしていただけるよう努めている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員で行っているが、買い物の際は、利用者様に支払をしていただけるような形をとり、お金を使えるような支援に努めている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	午前中の時間が多いが天気の良い日は散歩・買い物等、戸外に出かける支援に努めている	○	職員の体制を十分にし、時間に決まりなく、利用者様の希望に添い外出支援が出来るように努めていく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の理解・協力も得て外出・外泊の機会をつくり個別支援に努めている	○	職員だけでは人手不足となることも考えられるので、ボランティアの導入を進めていく。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や大切な人からの電話・手紙を受け取り、喜び・嬉しさを感じていただけるようつとめている	○	受け取るままではなく、本人様から返事の電話・手紙においても書きづらければ一緒に行い一方通行にならないような支援に努めていく。年賀状を家族や知り合いなどに書いていただく。
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問していただけるよう、訪問の際には居室、リビングにてゆっくり過ごしていただけるような環境作りや対応に努めている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに日々努めている	○	身体拘束への再確認、更に理解を深めるため、研修に参加してもらい、拘束しないケアの継続に取り組んでいく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、外へ行きたい希望、要望に寄り添い対応し鍵をかけないケアを出来るだけ心がけている	○	職員体制が完全ではなく鍵を使用する日、時間帯がある。鍵をかけないケアが完全となるよう努めていく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	必要以上の声かけをせず、本人様の過ごしやすいうように過ごしていただき、所在、様子の確認に努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人様の行動、状態に対応し、危険なく使用できるような対策等を職員で検討し本人様の必要な物品を一律になくさぬよう取り組み支援に努めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のため利用者様個々の状態を把握、対応し、防止に努めている	○	事故防止と並行して、左記内容になった場合の適切な対応策をも学び、取り組めるよう、努めていく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の医療機関への連絡、連携を提示し職員が理解している 急変時の対応の訓練、研修を具体的に実施出来ない	○	急変時の対応の訓練、研修を実施したこともあったが、最近では出来ていないため、定期的実施していくように努める
	○災害対策			災害時の対応、避難方法を行動で理解し、緊急時にはす

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応、避難経路の把握、理解に努めている	○	ぐに対応出来るように訓練等を実施していく また地域の人々の協力を得られるよう、働きかけに努める。 消防法の改正に対応し防火管理者等の設置を行なった。 またスプリンクラー設置についても進めている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様個々に起こり得るリスクに対し、家族、本人様に納得していただけるような圧迫感のない暮らしを提供出来るように対応策の話し合いを行っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化の早期発見に努めている。また医師、看護師への情報提供指示を仰ぎ、速やかな対応が出来るよう努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、看護師との連携を密に、服薬指導を受け、利用者様個々の服薬状況の把握、日常の経過観察をし状態に変化がないか確認に努めている	○	担当利用者様以外の方の薬に関する理解が浅い傾向にあるため、職員一人ひとりが、利用者様全員の薬の内容について理解を深めるよう努める
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者様個々の病状より、便秘の及ぼす影響、原因を理解し、飲水物の工夫、散歩、運動を取り入れ予防に努めている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月1回の歯科往診実施。歯科衛生士より利用者様個々のケア方法の指導を受け、口腔状態の良好に努めている また歯科受診も積極的に行っている		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様個々に合わせた食事形態にて対応し栄養バランスの保持に努め、水分においても飲水量が少ない場合にはゼリーなどでの補給をし一日を通してそれぞれが確保出来るように支援している		
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成した。	○	定期的に勉強会を設け、職員全員がしっかりと理解し実行できるよう努める
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後は調理道具の消毒にて衛生管理に努めている 食材においてもこまめな買出しにより、新鮮で安全な食材提供に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先やベランダに花を置き生活の家庭的な雰囲気作りに取り組んでいる	○	利用者様と花の手入れを小まめに行い日々の環境作りに努めていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音、光がないよう配慮し外出にて摘んできた花等を飾り季節感を感じあいながら居心地の良い空間作りに努めている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中において、畳、ソファの配置を工夫し利用者様個々に過ごしやすい空間の提供に努めている		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様、家族の理解、協力を得て使い慣れた馴染みあるものを揃え、居心地良い空間作りに努めている また、活動、移動しやすい配慮にも心掛けている		
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎日の清掃時、シーツ交換時は換気をし、利用者様の言動、行動、表情を観察し、温度調節の対応に努めている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様がなるべく自立した生活、歩行状態が活かせるよう手すりや、邪魔にならないようテーブル、椅子の配置をし、咄嗟にでも何かにつかまれるように安全な環境作りに努めている</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>利用者様個々に合わせた声掛けや関わりを大切に、個々の力を活かした自立支援に努めている</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の外回り(庭)に畑を作り園芸を楽しみ、活動できるように活かしている</p>	○	<p>テラスにおいては環境作りが不十分なため、外気浴などが気持ちよく出来るように環境整備に努めていく</p>

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご本人の体調を考慮しながら、短い時間でも戸外に散歩等で出かけていただくようにしている。今後は、ボランティアの導入を積極的に進め、より地域の行事に参加できるようにしていきたい。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	はなまるホーム宮前
(ユニット名)	2F
所在地 (県・市町村名)	川崎市宮前区東有馬3-8-7
記入者名 (管理者)	稲村 健一
記入日	平成 21 年 7 月 14 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設理念を念頭におき、カンファレンスを行い、個々に合ったケアプラン作成のもと支援に努めている	○	更に個々の得意な分野を見出し生きがいをもった生活を送れるよう取り組みに努めていく
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に職員が理念を念頭においてケアに取り組むように努めている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関の見やすいところに掲示し、理解してもらうように努めている。	○	地域の方にも機会があるたびにまたは機会を作り、理念について説明するように努める。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日は散歩、買い物に出かけ地域お店の方々と顔なじみになり、気軽に挨拶が出来るような付き合いに努めている	○	更に交流を深め近所付き合いが当たり前となり、いざという時、助け合えるような関係を築けるような関わりに取り組んでいく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の行事夏祭りにホーム全体で参加し、地域の人々との交流に努めている	○	ボランティアを導入し行事に参加する機会を増やしていきたいと考えている。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方々と交えた行事を主催する		
---	--	------------------	--	--

3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を実施する意義を理解している。また、評価を活かし具体的な改善への取り組みに努めている	○	より実現可能な改善から取組ようとしている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、評価の取り組みを事業所内で活動し、サービス向上に活かしているが、運営推進会議との取り組みへの活動は出来ていない	○	しばらく行なってこなかったため、今回の管理者交代にあわせて、運営推進会議を行なう。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する会議、研修には積極的に参加するように取り組んでいる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の財産管理サービスを利用されてる方がおり、今後後見制度の利用を視野に入れて情報提供を行なっていく。	○	後見制度についての研修等に参加するように努める。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待、拘束について資料にもとづき職員内で理解しあい、士せつな愛で見過ごされることがないように注意し、利用者様個々を尊重した関わりに努めている	○	虐待、拘束について再度学ぶ機会を設け言葉遣い、関わり方等も見直し、職員内での再確認に努めていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	---------------------------------	------	----------------------------------

4. 理念を実践するための体制

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を家族の前で読み、その都度ある疑問、不安事に十分な説明を行い、必ず理解、納得していただけるように努めている	○	退去していただくこととなる医療行為についての説明に際しては、より具体的な例を挙げて説明し納得していただくようにする。退去後の生活についても相談に乗ることをお話し不安を解消するように努める。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常サービス等に対する意見・不満・苦情を職員にあらわしていただけるよう、また、職員側が気付いていけるような対応に努め、この事実を管理者へ報告し運営の反映が出来るよう努めている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の暮らしぶり、健康状態の報告、職員のケア対応状況報告し、安心の確保、また協力を得られるような関わりに努めている。職員の異動等については、報告していない。金銭出納については、月初にご家族に送らせて頂いている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の知らない利用者様の状態の報告により、家族の喜び、要望、願いを表してもらえよう関わりが出来るよう努めている。それにより、事業所の信頼を得て運営に反映するよう努めている	○	意見箱を設置し、直接意見の言えないような場合も意志表示ができるような機会を設けるようにする。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所職員の話し合い内容をまとめ管理者は本社会議にて運営者へ提示している	○	本社会議内容を管理者は職員内に提示し互いに意見交換をしていけるように努める
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様・ご家族の状況の変化に対応できるよう、職員確保のための連携の取り組みを行っており、また要望には対応できるような勤務調整の話し合いに努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職を必要最小限に抑える努力に努めている。離職の場合も引継ぎの期間を設け、速やかに業務に入れるように考慮している。		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のキャリアアップ、スキルアップの希望などの聞き取りを行い、それに合わせて研修等を受けてもらうように進めている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある姉妹施設との交流を通して、できるだけ様々な要介護者のケースに触れる事で介護スキルのアップを図り、サービスの質の向上に努める。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者が職員の表情、行動を意識し、意見、要望を表せるような関わりに努め、本社会議にて運営者へ報告、提示している	○	本社会議での運営者の対応を職員へ提示し、要望にできるだけ応え、心身ともに休める環境作りに取り組んでいけるように努める
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている	管理者が職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう関わりに努め、運営者へ報告、提示している	○	運営者の対応を職員に提示し、向上心を持って働けるよう関わりに努めていく

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	職員との連携を取り合い、利用者様の不安、要望などの意見に寄り添える機会を十分に設けていけるよう努めている。生活暦等の中から話題を見つけ会話を多く交わすように努めている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族面会時には、利用者様の状況を報告し、短時間ではあるが、ご家族の思いを聴き、受け止めるよう努めている	○	ご家族の思い、意見を十分に聴く機会を設けていけるよう努める
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援、今後必要とされるであろう支援を見極め、早めに相談を受ける前でも支援を行なうようにしている。		

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族等と相談し利用者様が安心出来る環境を作り、納得した上でのサービス開始に努めている。2泊3日の体験入居を経た後に入居するシステムをとっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経験のある利用者様からの学びを大切に日々の関わりに努めている。更に互いが気に掛け合いながら生活をともにしていけるよう努めている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員・ご家族共に、悩み・不安を話し合いご家族の協力も得ながら一緒に支え合えるような関わり作りに努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでのご本人、ご家族との関係、今のご本人の思い、ご家族の思いをそれぞれに受け止め理解しより良い関係を築けるよう努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、ご家族などの協力を得ながら、支援に努めている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様個々の性格、関係を把握し、利用者様全員が萎縮して生活することのないような環境、関係作りに勤めている。利用者同士の人間関係構築の為、共通の話題を投げかけてみるなど、スタッフが積極的に関係づくりに関わっている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	イベント等のお知らせや、他新しいお知らせがあれば郵送にてお知らせし、参加していただけるように努めている		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様個々の思い、希望の把握が困難な場合は、本人の行動・生活歴・ご家族からの情報をもとに、職員全員が検討、把握している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様本人やご家族から伺った個々の生活歴・好みを職員間で把握し、それをもとに、更に過ごしやすい生活が送れるように努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様個々の過ごし方、心身状態、有する力、の現状の把握に努め、日々、変化を見極め、情報の共有をし、関わりに努めている		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様全員はもとより、担当利用者様は更に密に寄り添い、ケアのあり方、課題を挙げ、話し合いケアマネージャー監督の下、介護計画作成にて取り組んでいる	○	ケアのあり方について、ご本人・ご家族を含めての話し合いが少ないため、積極的に取り入れるよう努める
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しの実施、また、見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合は、すぐに話し合いの場を設けその状況に即した介護計画作成に対応している	○	見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合、ご家族・必要な関係者と電話による話が多いため、一同による話し合いの場を早期に設ける事が出来るよう努める

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、課題について、実践・経過・結果を記入し、新たな気づき、課題の情報共有を行い、ケアプラン見直しに活かすよう努めている		

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人・ご家族の要望、希望に応じ、外出・外泊・個別支援等、柔軟な対応に努めている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	イベントやレクリエーションにはボランティアに協力していただき支援に努めている	○	ご本人の意向や必要性に応じて地域資源との協働に努めていく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネジャーとは、新規入居の紹介・受け入れ時の関係が主である。必要時には、それらの関係を頼りに他のサービス利用の支援を行なって行きたいと考えている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまでは、地域包括支援センターとの関係は、新規入居者の依頼・紹介が主で、協働することはほとんどなかった。	○	今後は、家族のいない独居の方の権利擁護の問題も発生すると考えられるため、協働する機会が増えると思う。連絡を密にして対応していきたいと思う。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携のとれている病院、訪問医療での関係を築いているが、馴染みであるかかりつけ医での治療があれば、希望に添えるように対応している		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者様が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援に努めている	○	認知症専門医の受診が必要とのかかりつけ医の意見があれば、速やかに専門医の受診につなげる体制をとっている。
	○看護職との協働			

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問医師、看護師との連携を密にし、日常の利用者様の状態報告し医療面の情報提供に添い支援している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	訪問医師、連携ある病院との相談を密にし、事務所ですべき事などの指示を仰ぎ、退院期間が短期で行えるように努めている	○	提携病院と施設の間で入院後のADL低下予防のために、入院前の生活状況を報告する用紙が作成された。退院後も入院前の生活状況を維持できるように、報告に基づいて「リハビリ」訓練を行なってくれるようになった。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方について、早い段階での話し合いの場を医師、家族と設け、どのように連絡を取るか、どのように対応するか話し合い、全職員が理解しあえるよう努めている	○	入居者全員から急変時の対応に関する説明と同意書に対して署名をもらった。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所の「出来ること・出来ないこと」、またご本人の「やりたいこと・やりたくないこと」の要望、願いの受け入れを大切に医師、職員で支援に取り組んでいる また今後の変化に備え、ご家族・医師を交えた話し合いの場を設けている	○	急変時の対応に関する同意書を入居者様全員から頂いた。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者様、ご家族の希望、要望に添い十分な話し合いの場を持ち、理解、納得を得て住み替えのダメージを防ぐように努めている	○	
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いの徹底、本人様の気持ち・誇りを損ねないような言葉かけ、対応に努めている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様個々のわかる力、反応にあった声掛け、関わりを職員で理解し、ご本人の要望や決定を引き出せるような支援に努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人を優先し、無理に物事をすすめないような対応に努めている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみにおいてはご本人の残存機能を活かし支援に努めているが、理美容に迫っては個々に望む店へ行けるような支援が出来ていない	○	理美容において利用者様個々に望む店、望む事を引き出し個々に添った支援に努めていく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様個々が食べやすい食事量、食事形態にし気持ちよく食事が出来るよう支援に努めているまた可能な限り、利用者様と職員がい一緒に食事準備・片付けを行っている	○	外食好きな方は、月に数回職員が付き添って外食に行かれています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ、飲み物等、個々の好みのものを、一人ひとりの状況に合わせて、望む時に提供するよう努めている	○	医師、看護師との相談の場を設け、お酒・たばこ等の望む楽しみを提供できるように努めていく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの観察からオムツ、リハビリパンツの使用を減少し、気持ちよくトイレでの排泄を。また、自信回復、ADL機能向上につながる支援に努めている		
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間は大まかに決定している部分はあるが、その日の利用者様の身体・心理状態に寄り添い、入浴が気持ちよく楽しめるような支援に努めている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の状態・希望・習慣に添って、休息・安眠を促す支援に努めている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様個々の生活歴・趣味・特技を活かしケアプラン作成のもと、気晴らし・張り合いある一日を過ごしていただけるよう努めている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員で行っているが、買い物の際は、利用者様に支払をしていただけるような形をとり、お金を使えるような支援に努めている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	午前中の時間が多いが天気の良い日は散歩・買い物等、戸外に出かける支援に努めている	○	職員の体制を十分にし、時間に決まりなく、利用者様の希望に添い外出支援が出来るように努めていく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の理解・協力も得て外出・外泊の機会をつくり個別支援に努めている	○	職員だけでは人手不足となることも考えられるので、ボランティアの導入を進めていく。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や大切な人からの電話・手紙を受け取り、喜び・嬉しさを感じていただけるようつとめている	○	受け取るままではなく、本人様から返事の電話・手紙においても書きづらければ一緒に行い一方通行にならないような支援に努めていく。年賀状を家族や知り合いなどに書いていただく。
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問していただけるよう、訪問の際には居室、リビングにてゆっくり過ごしていただけるような環境作りや対応に努めている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに日々努めている	○	身体拘束への再確認、更に理解を深めるため、研修に参加してもらい、拘束しないケアの継続に取り組んでいく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、外へ行きたい希望、要望に寄り添い対応し鍵をかけないケアを出来るだけ心がけている	○	職員体制が完全ではなく鍵を使用する日、時間帯がある。鍵をかけないケアが完全となるよう努めていく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	必要以上の声かけをせず、本人様の過ごしやすいうように過ごしていただき、所在、様子の確認に努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人様の行動、状態に対応し、危険なく使用できるような対策等を職員で検討し本人様の必要な物品を一律になくさぬよう取り組み支援に努めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のため利用者様個々の状態を把握、対応し、防止に努めている	○	事故防止と並行して、左記内容になった場合の適切な対応策をも学び、取り組めるよう、努めていく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の医療機関への連絡、連携を提示し職員が理解している 急変時の対応の訓練、研修を具体的に実施出来ない	○	急変時の対応の訓練、研修を実施したこともあったが、最近では出来ていないため、定期的実施していくように努める
	○災害対策			災害時の対応、避難方法を行動で理解し、緊急時にはす

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応、避難経路の把握、理解に努めている	○	ぐに対応出来るように訓練等を実施していく また地域の人々の協力を得られるよう、働きかけに努める。 消防法の改正に対応し防火管理者等の設置を行なった。 またスプリンクラー設置についても進めている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様個々に起こり得るリスクに対し、家族、本人様に納得していただけるような圧迫感のない暮らしを提供出来るように対応策の話し合いを行っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化の早期発見に努めている。また医師、看護師への情報提供指示を仰ぎ、速やかな対応が出来るよう努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、看護師との連携を密に、服薬指導を受け、利用者様個々の服薬状況の把握、日常の経過観察をし状態に変化がないか確認に努めている	○	担当利用者様以外の方の薬に関する理解が浅い傾向にあるため、職員一人ひとりが、利用者様全員の薬の内容について理解を深めるよう努める
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者様個々の病状より、便秘の及ぼす影響、原因を理解し、飲水物の工夫、散歩、運動を取り入れ予防に努めている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月1回の歯科往診実施。歯科衛生士より利用者様個々のケア方法の指導を受け、口腔状態の良好に努めている また歯科受診も積極的に行っている		
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様個々に合わせた食事形態にて対応し栄養バランスの保持に努め、水分においても飲水量が少ない場合にはゼリーなどで補給をし一日を通してそれぞれが確保出来るように支援している		
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成した。	○	定期的に勉強会を設け、職員全員がしっかりと理解し実行できるよう努める
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後は調理道具の消毒にて衛生管理に努めている 食材においてもこまめな買出しにより、新鮮で安全な食材提供に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先やベランダに花を置き生活の家庭的な雰囲気作りに取り組んでいる	○	利用者様と花の手入れを小まめに行い日々の環境作りに努めていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音、光がないよう配慮し外出にて摘んできた花等を飾り季節感を感じあいながら居心地の良い空間作りに努めている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中において、畳、ソファの配置を工夫し利用者様個々に過ごしやすい空間の提供に努めている		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様、家族の理解、協力を得て使い慣れた馴染みあるものを揃え、居心地良い空間作りに努めている また、活動、移動しやすい配慮にも心掛けている		
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎日の清掃時、シーツ交換時は換気をし、利用者様の言動、行動、表情を観察し、温度調節の対応に努めている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様がなるべく自立した生活、歩行状態が活かせるよう手すりや、邪魔にならないようテーブル、椅子の配置をし、咄嗟にでも何かにつかまれるように安全な環境作りに努めている</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>利用者様個々に合わせた声掛けや関わりを大切にし、個々の力を活かした自立支援に努めている</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の外回り(庭)に畑を作り園芸を楽しみ、活動できるように活かしている</p>	○	<p>テラスにおいては環境作りが不十分なため、外気浴などが気持ちよく出来るように環境整備に努めていく</p>

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご本人の体調を考慮しながら、短い時間でも戸外に散歩等で出かけていただくようにしている。今後は、ボランティアの導入を積極的に進め、より地域の行事に参加できるようにしていきたい。